

第5章 制限事項

5.1 トレース・イベント検出について

不具合現象：エミュレーションCPUが16MHz以上で動作[※]をしているときに以下のトレース・イベント検出が正常に動作しないことがあります。

(※：X1端子に32MHz以上を供給し、STBCレジスタに00hをセットした状態)

- ベクタ・リード
- マクロ・サービス・リード
- マクロ・サービス・ライト

5.2 BWD端子について

ターゲットを使用しない場合、BWD端子は常にLOWレベルに固定されますので、リセット時のBWレジスタの値はBWD端子がLOWレベルの初期値に設定されます。

5.3 MODE1端子について

μPD78405Xをエミュレーション時、MODE1端子はP13端子として動作しますので、MODE1端子をエミュレーションできません。

5.4 STBCレジスタについて

リセット解除後のプログラムにおいて、LOCATION命令とスタック・ポインタ(SP)の初期化に続いて、スタンバイ・コントロール・レジスタ(STBC)に00Hを設定する命令を入れてください。

プログラム例

```
RSTVCT  CSEG AT 0
        DW  RSTSTRT
        ?
INITSEG  CSEG BASE
RSTSTRT: LOCATION 0H;or LOCATION 0FH
        MOVG SP,#STKBGN
        MOV  STBC,#0H
```

理由：μPD78405Xシリーズ、μPD78404Xシリーズの内部システムクロックは、f_{xx}/2固定になっています。しかし、ND-K404は、リセット解除後に、内部システム・クロックがf_{xx}/16になっています。そのため、上記のようにSTBCの設定を変更する必要があります。

STBCに00Hを設定する命令を実行しても、本チップのSTBCは30H固定になっているので動作には影響しません。同様の理由から、本チップでSTBCを読み出すと、値は常に30Hになります。しかし、ND-K404では、上記のSTBC設定変更によって、値は00Hに変わっています。したがって、STBCの読み出し値は、ND-K404と本チップとで異なりますので注意してください。